

【別冊】各市町村の状況 — 日野町

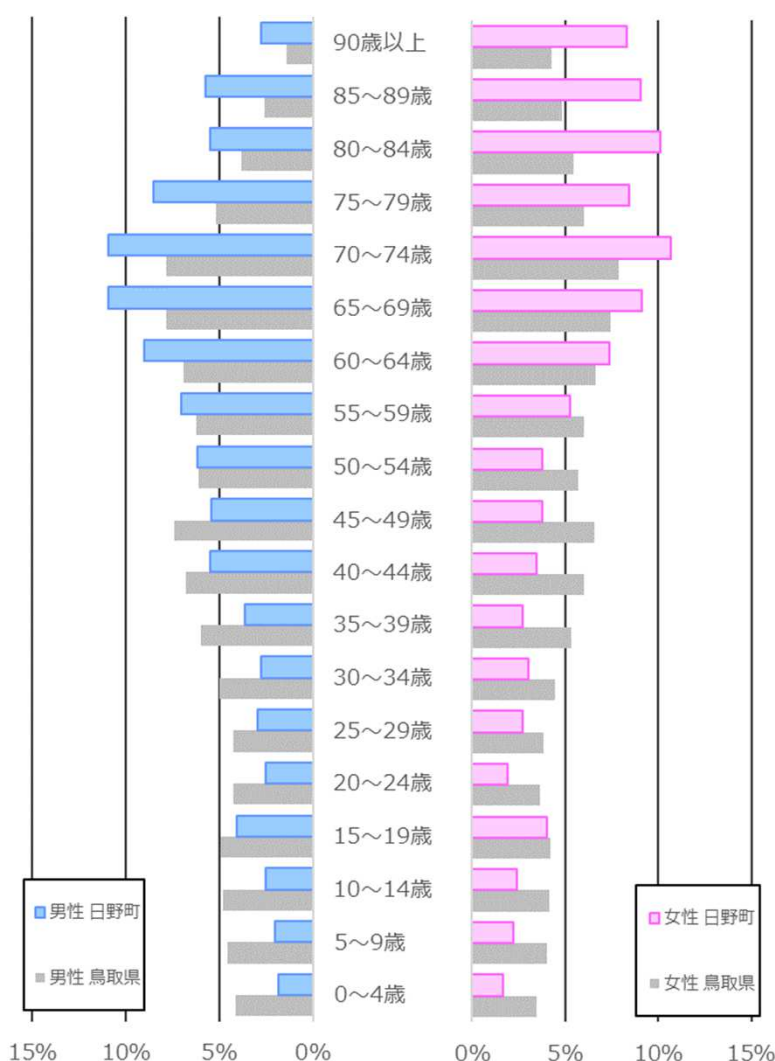
1. 概要

人口総数	2,907人
高齢化率	50.6%

	国保	後期
被保険者数	567人	843人
加入率	19.5%	29.0%
平均年齢	60.5歳	83.6歳

出典: KDB帳票No. 3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（令和5年度累計）

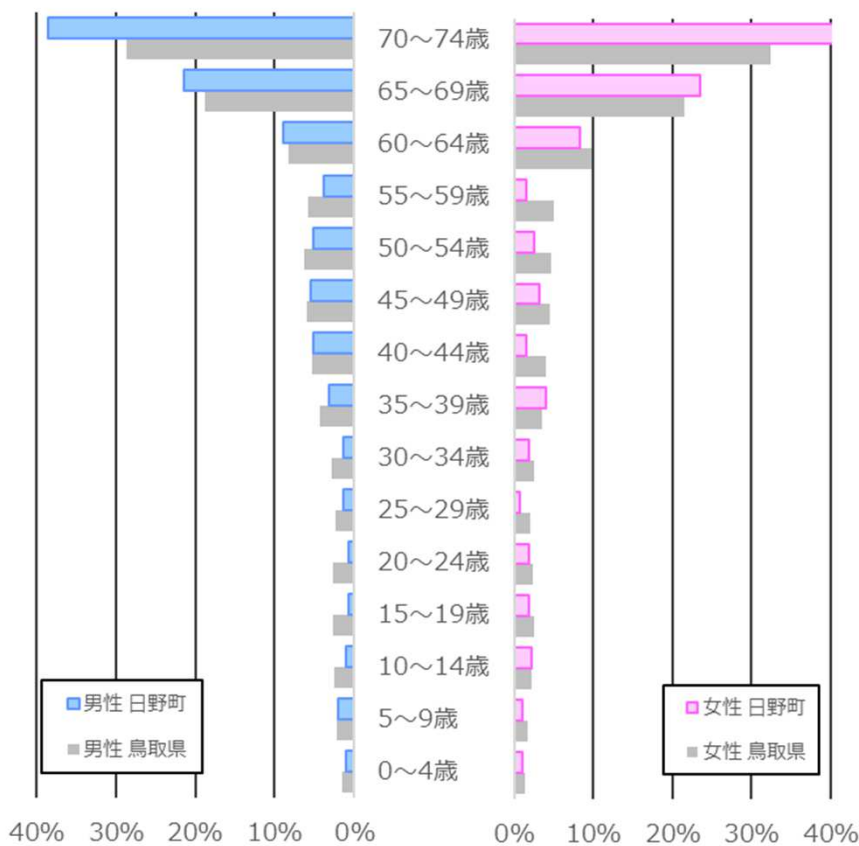
■ 人口ピラミッド（令和2年度）



年齢階層	人口	
	男性	女性
0~4歳	24人	26人
5~9歳	27人	35人
10~14歳	33人	38人
15~19歳	54人	64人
20~24歳	33人	30人
25~29歳	39人	43人
30~34歳	37人	48人
35~39歳	48人	43人
40~44歳	73人	55人
45~49歳	72人	60人
50~54歳	82人	60人
55~59歳	93人	83人
60~64歳	119人	117人
65~69歳	145人	144人
70~74歳	145人	169人
75~79歳	113人	134人
80~84歳	73人	160人
85~89歳	76人	143人
90歳以上	37人	132人
合計	1,323人	1,584人

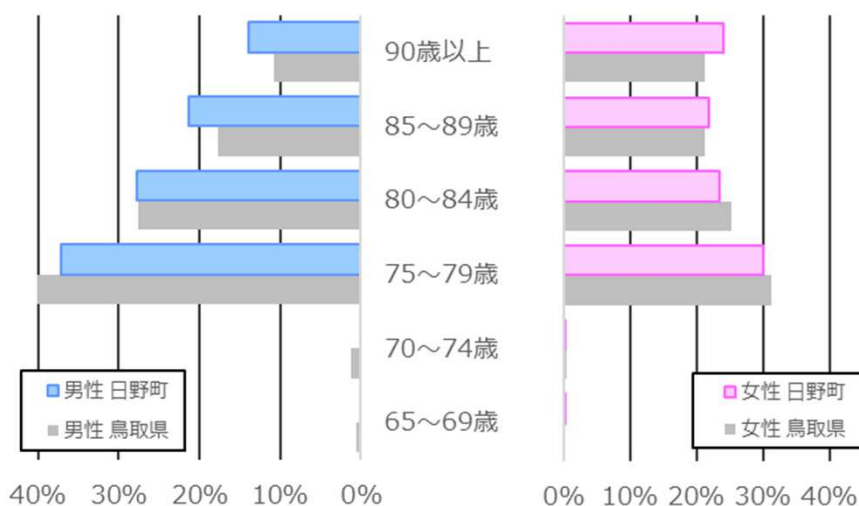
出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況（令和5年度累計）

国保 国保被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	3人	3人
5～9歳	6人	3人
10～14歳	3人	6人
15～19歳	2人	5人
20～24歳	2人	5人
25～29歳	4人	2人
30～34歳	4人	5人
35～39歳	9人	11人
40～44歳	15人	4人
45～49歳	16人	9人
50～54歳	15人	7人
55～59歳	11人	4人
60～64歳	26人	23人
65～69歳	62人	65人
70～74歳	112人	125人
合計	290人	277人

後期 後期被保険者数ピラミッド



年齢階層	人口	
	男性	女性
65～69歳	0人	1人
70～74歳	0人	2人
75～79歳	110人	164人
80～84歳	82人	128人
85～89歳	63人	120人
90歳以上	41人	132人
合計	296人	547人

出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況 (令和5年度累計)

2. 標準化死亡比 (SMR) 説明②

■ 主要死因別標準化死亡比SMRの推移

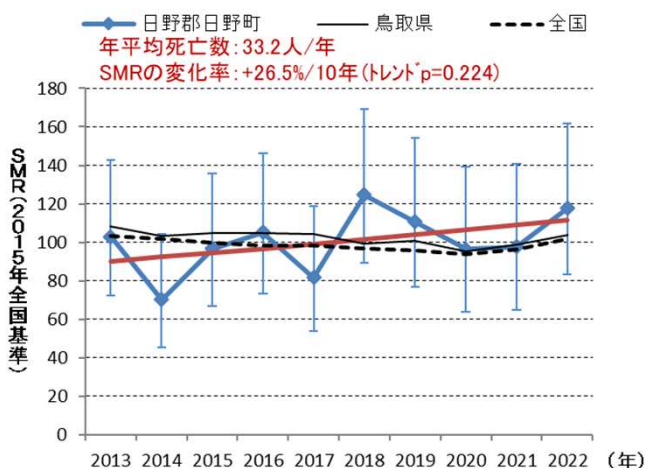
- 2015年の全国を100として、青色 = 毎年の値、赤色 = それを平滑化した値（「10年間の値をプールしてSMRを計算し、経年的な変化の傾きを付けたもの」と比較しています。主に赤色の方に注目して見ます。
- トレンドpは、「変化が偶然である確率」を意味し、 $p < 0.05$ の場合に、偶然変動とはみなせない変化があると判断します。

※全国（2015年）= 100よりも上方で推移していれば全国（2015年）よりも死亡者の割合が高く、下方で推移していれば低いことを意味します。

※全国（黒線）と同じ傾きで推移していれば全国と同じ状況にあり、全国が右肩上がりとなっている中で、全国よりも傾きが急な右肩下がりであれば、全国よりも早いペースで改善していることになります。また、右肩上がりであれば、全国よりも改善のペースが遅いまたは悪化していることを示すことになります。

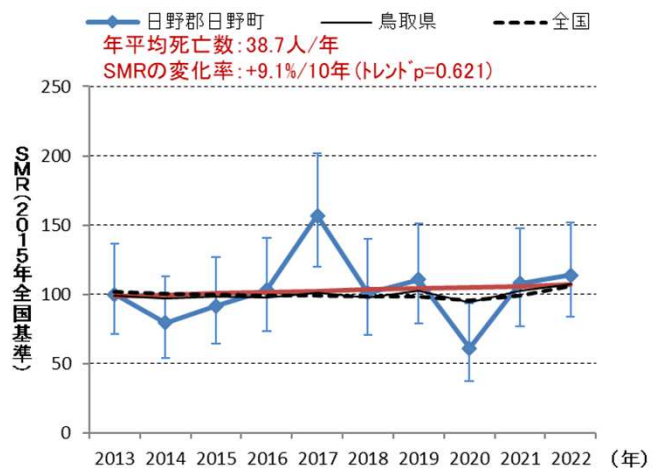
■ 【男性】

【全死因】

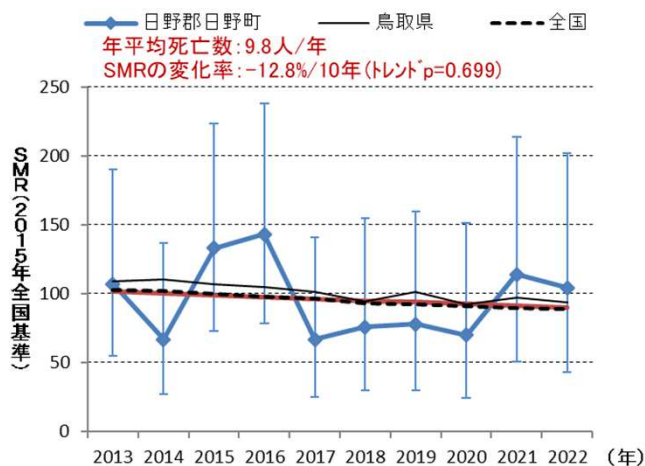


■ 【女性】

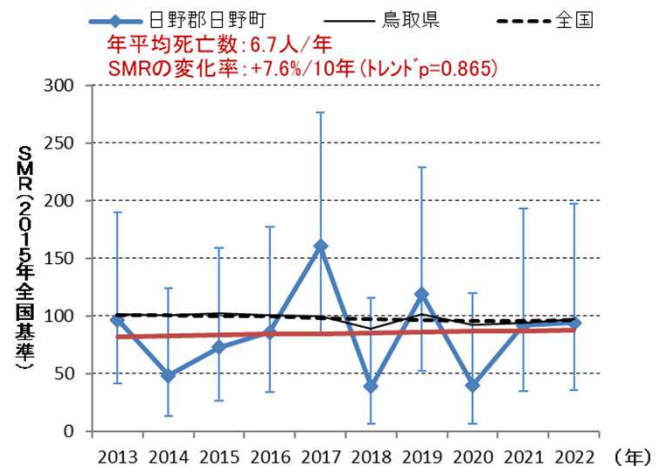
【全死因】



【悪性新生物】

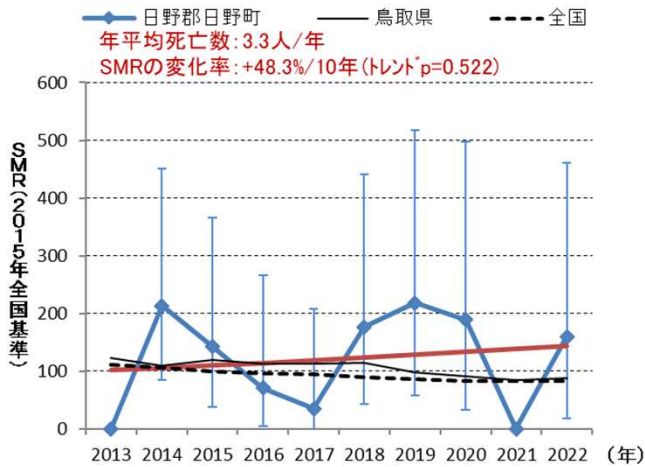


【悪性新生物】

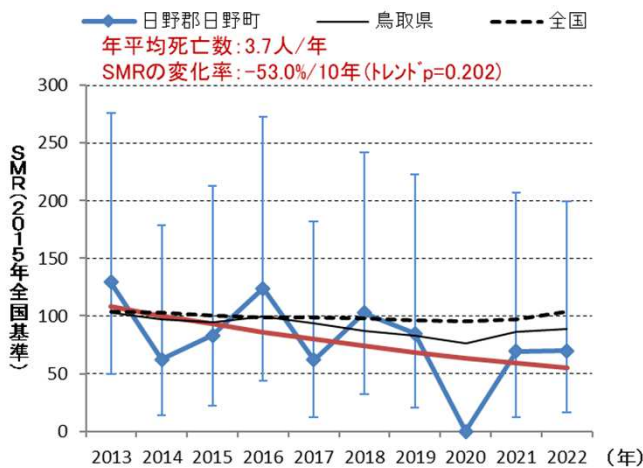


■【男性】

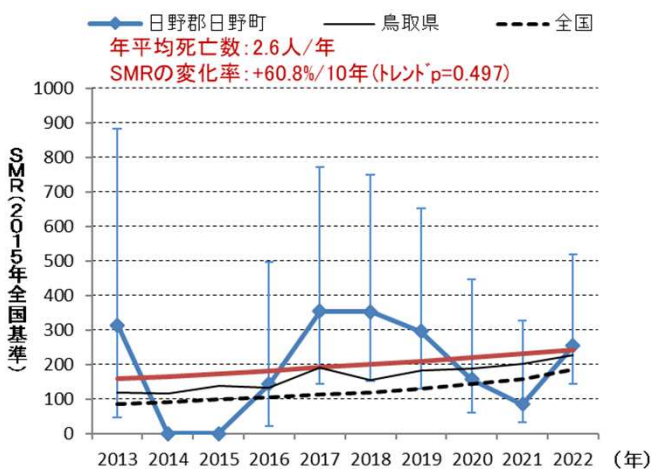
【脳血管疾患】



【心疾患(高血圧性を除く)】

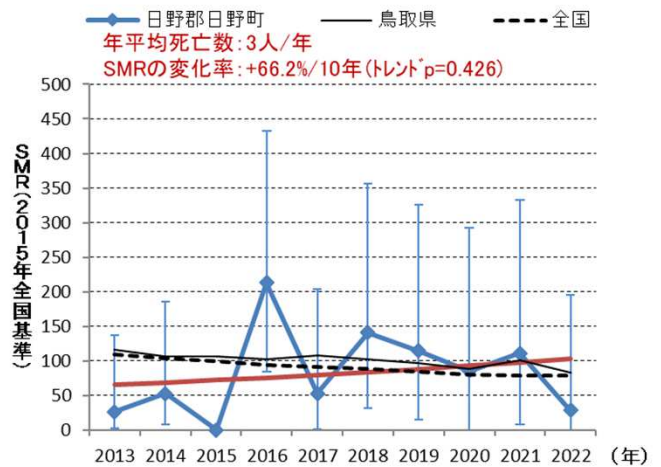


【老衰】

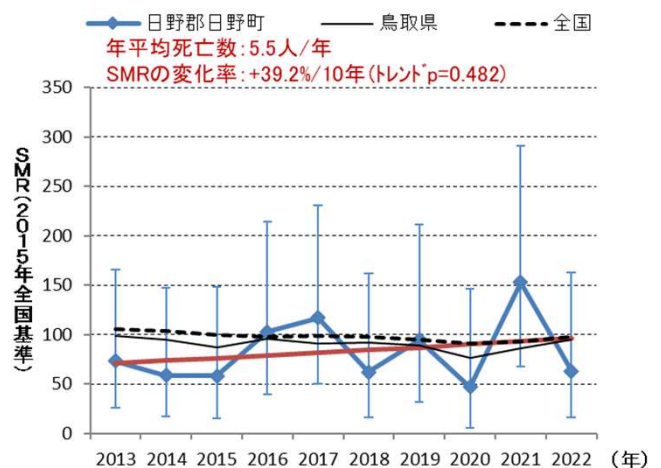


■【女性】

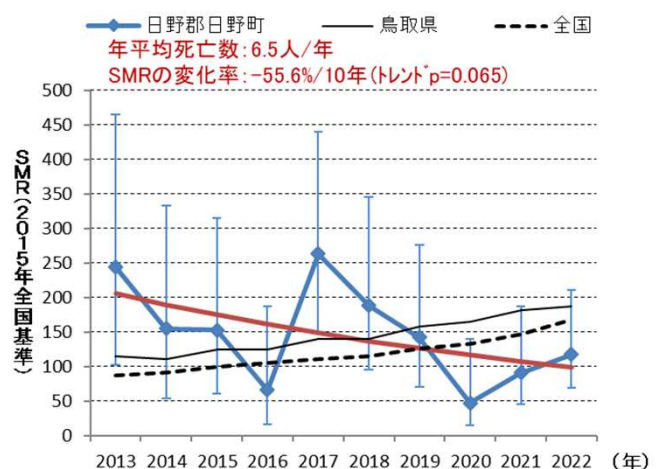
【脳血管疾患】



【心疾患(高血圧性を除く)】

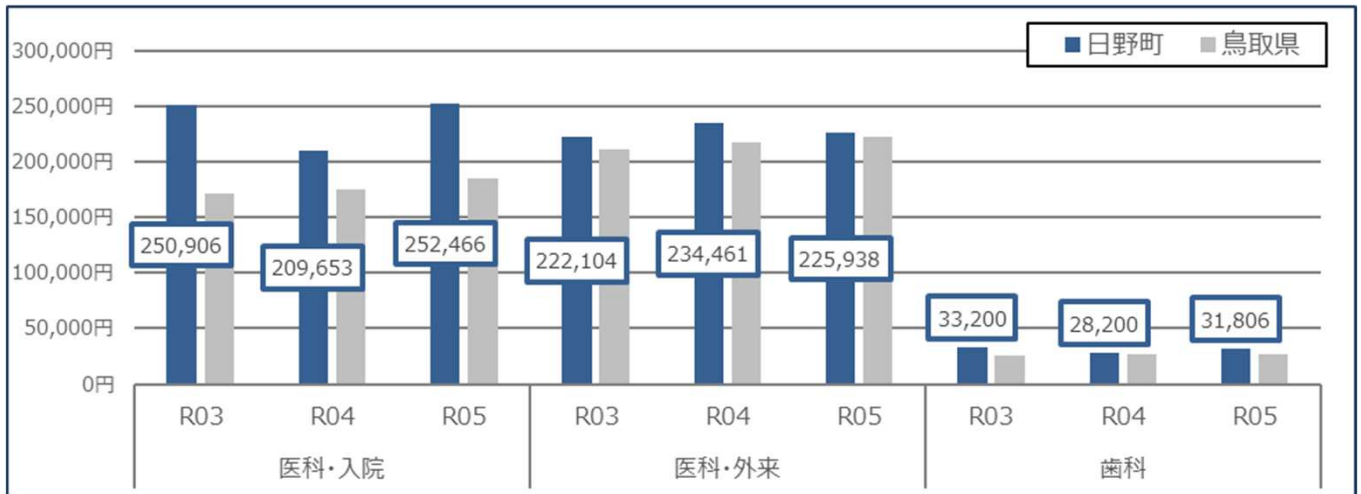


【老衰】



3. 医療費の状況

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ（各年度累計）

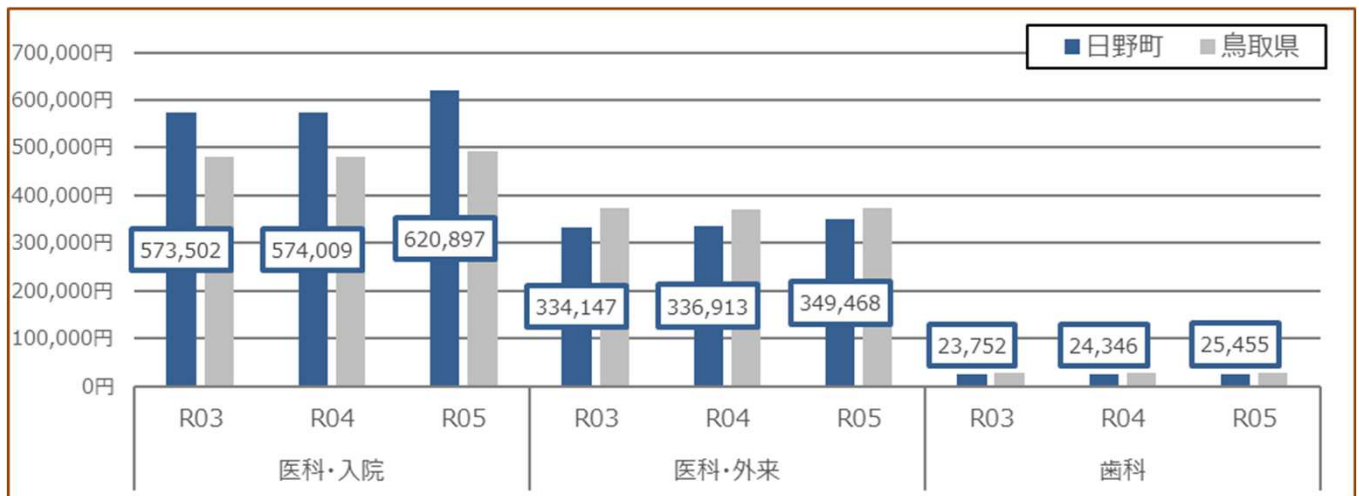
国保 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（3 年平均）

（単位:円）

番号	疾病大分類	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
		男性		女性		男性		女性	
1	感染症及び寄生虫症	2,220	12位	899	15位	3,654	11位	10,799	7位
2	新生物＜腫瘍＞	74,804	1位	36,186	1位	37,588	3位	35,656	1位
3	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	1,191	15位	181	18位	70	18位	674	16位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,908	13位	5,732	9位	38,411	2位	29,229	2位
5	精神及び行動の障害	394	17位	26,949	4位	6,319	10位	8,538	10位
6	神経系の疾患	26,427	4位	30,274	3位	13,321	6位	9,371	9位
7	眼及び付属器の疾患	5,211	10位	4,913	10位	12,127	7位	14,166	6位
8	耳及び乳様突起の疾患	0	18位	1,034	14位	917	15位	683	15位
9	循環器系の疾患	38,094	2位	31,768	2位	50,638	1位	21,338	3位
10	呼吸器系の疾患	34,997	3位	3,606	11位	21,235	4位	10,296	8位
11	消化器系の疾患	15,708	5位	22,117	5位	19,710	5位	20,883	5位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	669	16位	3,498	12位	3,453	12位	6,528	11位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	12,300	7位	20,523	6位	12,063	8位	21,310	4位
14	尿路性器系の疾患	12,595	6位	10,077	8位	10,902	9位	4,600	12位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0	18位	0	19位	0	19位	83	18位
16	周産期に発生した病態	2,751	11位	610	16位	545	16位	0	19位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	1,696	14位	320	17位	135	17位	124	17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	5,405	9位	2,078	13位	1,813	14位	1,596	14位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	10,363	8位	16,583	7位	2,755	13位	2,875	13位
合計		246,732	—	217,348	—	235,657	—	198,749	—

※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和3年度～令和5年度）

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3 年平均)

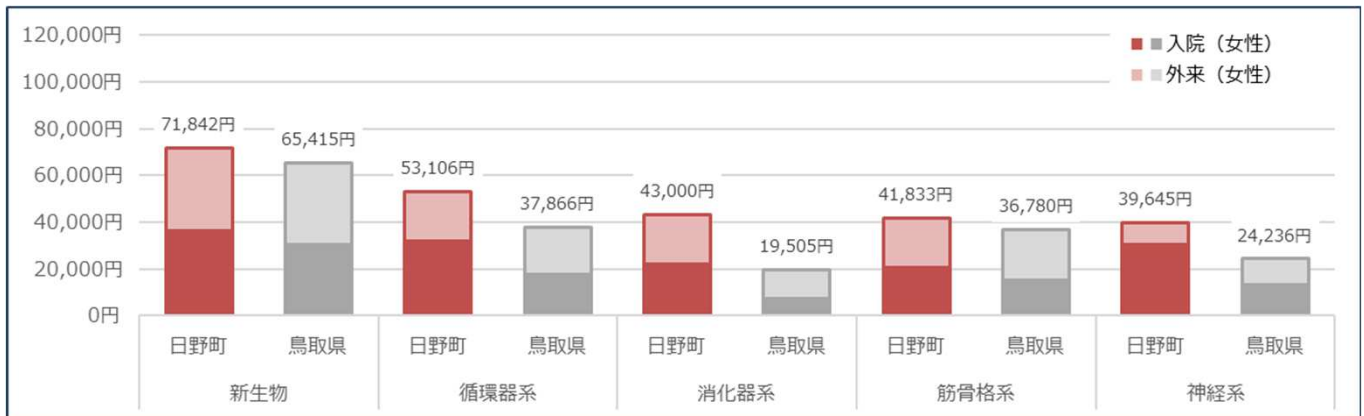
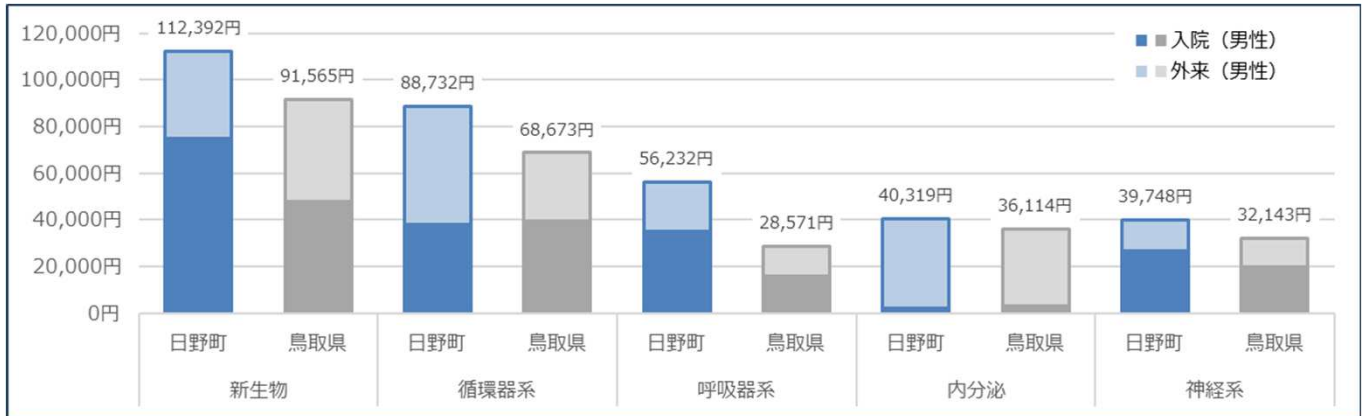
(単位:円)

番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来 + 調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	2,840 15位	2,477 14位	8,215 10位	2,728 14位
2	新生物<腫瘍>	122,404 2位	37,089 6位	107,525 1位	24,915 4位
3	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	3,605 14位	7,429 12位	238 16位	18,329 9位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	6,388 12位	2,672 13位	41,044 3位	41,203 3位
5	精神及び行動の障害	26,778 6位	10,971 10位	2,556 14位	3,496 12位
6	神経系の疾患	22,712 8位	72,676 2位	18,399 9位	19,064 8位
7	眼及び付属器の疾患	12,460 11位	8,497 11位	19,185 7位	19,631 7位
8	耳及び乳様突起の疾患	498 17位	78 16位	653 15位	639 16位
9	循環器系の疾患	173,849 1位	167,806 1位	73,261 2位	62,340 1位
10	呼吸器系の疾患	86,592 3位	39,748 5位	37,762 4位	5,489 10位
11	消化器系の疾患	16,462 10位	15,485 8位	26,106 5位	23,780 5位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	5,787 13位	2,287 15位	4,872 11位	2,191 15位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	59,417 5位	58,845 4位	25,217 6位	42,406 2位
14	尿路性器系の疾患	23,231 7位	27,626 7位	18,833 8位	21,231 6位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0 18位	0 17位	0 18位	0 18位
16	周産期に発生した病態	0 18位	0 17位	0 18位	0 18位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	673 16位	0 17位	74 17位	5 17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	19,717 9位	14,188 9位	2,920 13位	3,033 13位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	59,791 4位	65,643 3位	3,508 12位	5,422 11位
合計		643,204 -	533,516 -	390,367 -	295,901 -

※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析(大分類)(令和3年度～令和5年度)

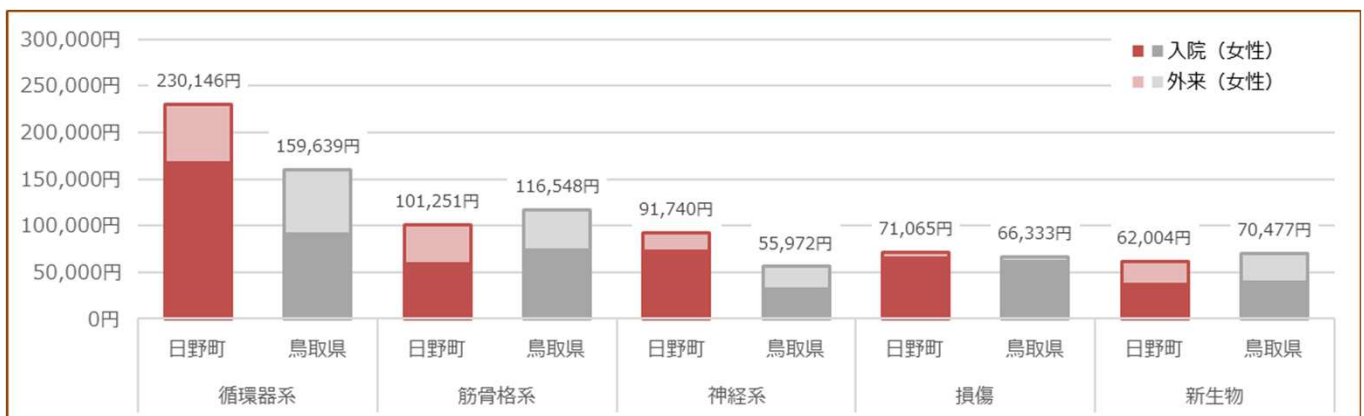
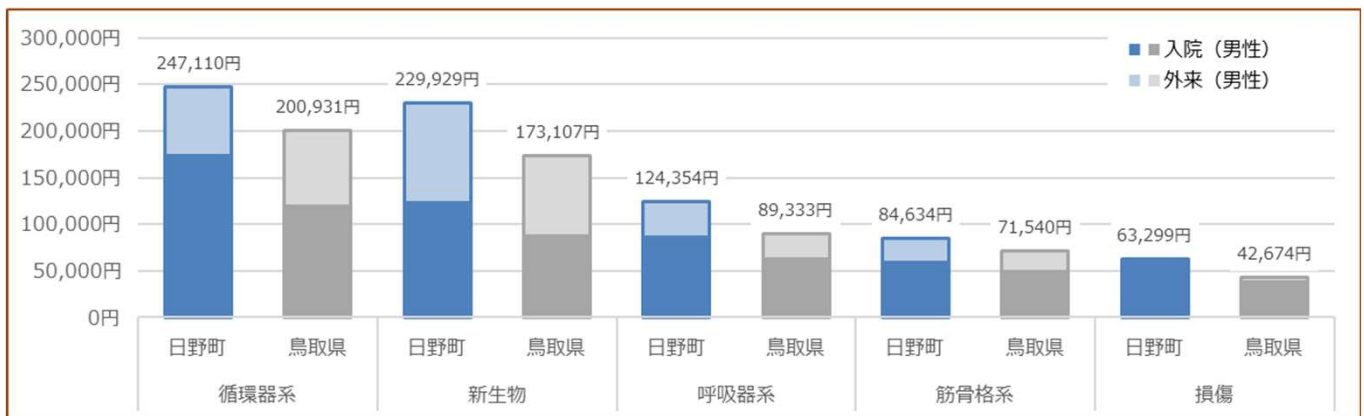
国保

疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



後期

疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和3年度～令和5年度）

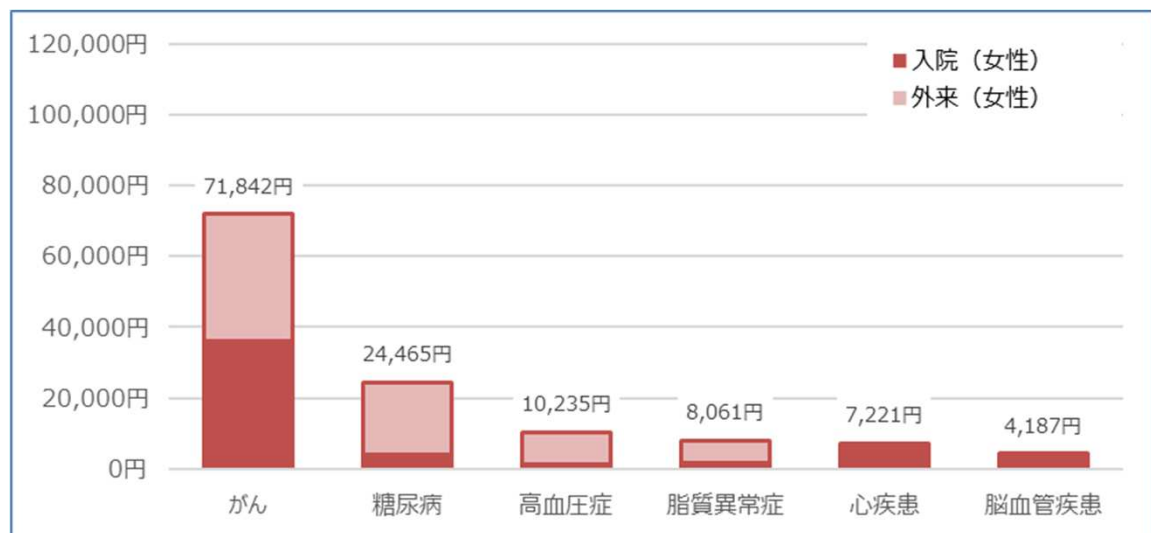
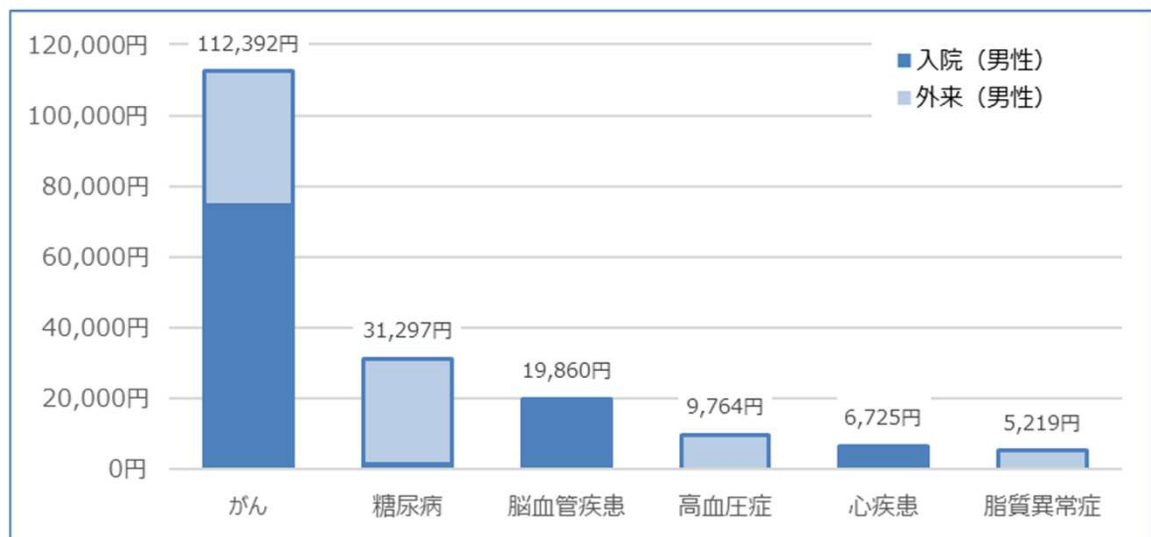
国保

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位:円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	39	5位	1,083	6位	9,725	3位	9,152	3位
糖尿病	1,503	4位	4,031	3位	29,794	2位	20,434	2位
脂質異常症	0	6位	1,701	5位	5,219	4位	6,360	4位
心疾患	5,533	3位	6,331	2位	1,192	6位	890	5位
脳血管疾患	18,600	2位	3,967	4位	1,260	5位	220	6位
がん	74,804	1位	36,186	1位	37,588	1位	35,656	1位

出典:KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和3年度～令和5年度累計）



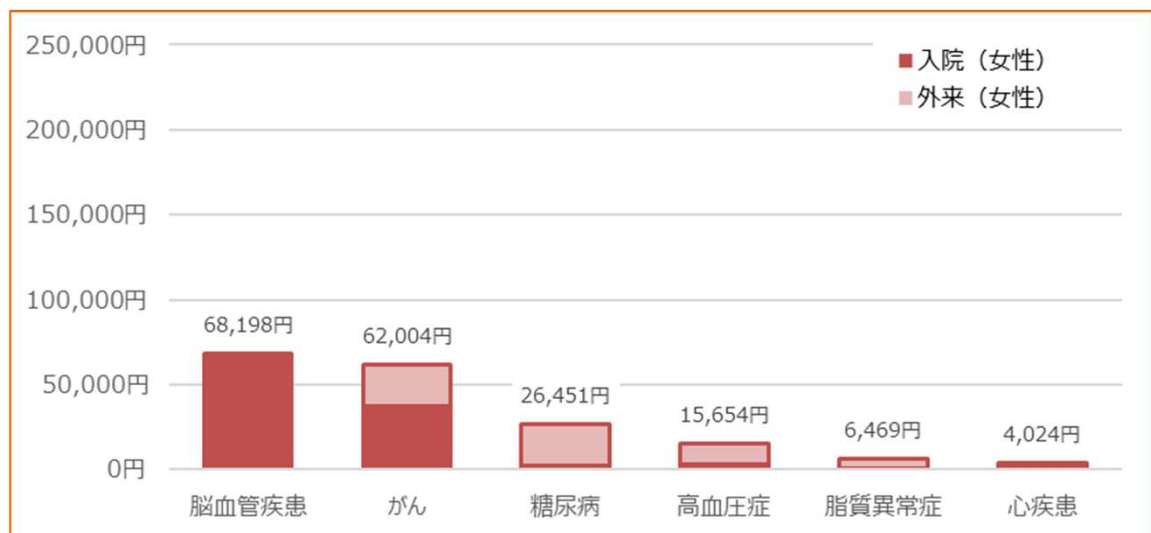
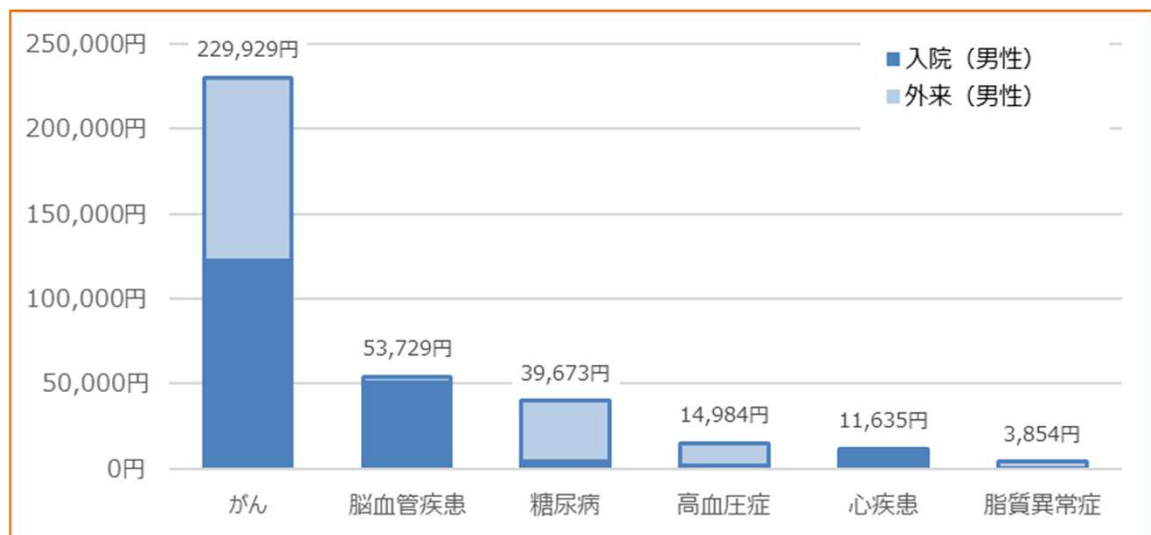
後期

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位:円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	1,930	5位	3,034	4位	13,054	3位	12,620	3位
糖尿病	4,029	4位	2,031	5位	35,644	2位	24,420	2位
脂質異常症	0	6位	547	6位	3,854	4位	5,922	4位
心疾患	10,483	3位	3,053	3位	1,152	6位	971	6位
脳血管疾患	50,515	2位	65,462	1位	3,214	5位	2,736	5位
がん	122,404	1位	37,089	2位	107,525	1位	24,915	1位

出典:KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和3年度～令和5年度累計）



国保 疾病中分類別被保険者 1 人当たり医療費（上位10位）（3年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	18,234
2	アルツハイマー病	15,350
3	肺炎	11,941
4	パーキンソン病	8,926
5	骨折	8,545
6	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	8,430
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,426
8	関節症	6,556
9	虚血性心疾患	5,751
10	腎不全	5,599

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	29,794
2	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	13,028
3	高血圧性疾患	9,725
4	腎不全	5,547
5	脂質異常症	5,219
6	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	3,562
7	喘息	3,477
8	パーキンソン病	3,395
9	脊椎障害（脊椎症を含む）	3,379
10	胃炎及び十二指腸炎	3,258

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	18,621
2	関節症	11,412
3	骨折	11,248
4	血管性及び詳細不明の認知症	7,738
5	腎不全	6,546
6	虚血性心疾患	6,507
7	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	6,197
8	くも膜下出血	5,387
9	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	4,934
10	胆石症及び胆のう炎	4,400

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	21,412
2	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	15,197
3	高血圧性疾患	9,152
4	脂質異常症	6,360
5	骨の密度及び構造の障害	5,968
6	関節症	5,524
7	喘息	5,506
8	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	5,359
9	ウイルス性肝炎	4,810
10	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	3,962

後期 疾病中分類別被保険者 1 人当たり医療費（上位10位）（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	49,055
2	骨折	37,243
3	慢性閉塞性肺疾患	22,320
4	脊椎障害（脊椎症を含む）	20,826
5	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	19,717
6	関節症	16,264
7	肺炎	14,765
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	14,608
9	悪性リンパ腫	12,784
10	腎不全	12,452

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	35,644
2	慢性閉塞性肺疾患	29,191
3	高血圧性疾患	13,054
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	11,937
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	8,766
6	腎不全	7,794
7	パーキンソン病	6,317
8	ウイルス性肝炎	5,841
9	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	5,740
10	喘息	5,248

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	62,265
2	骨折	55,038
3	パーキンソン病	32,562
4	関節症	27,318
5	腎不全	19,181
6	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	14,188
7	脊椎障害（脊椎症を含む）	11,369
8	肺炎	8,941
9	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,005
10	アルツハイマー病	7,512

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	24,454
2	貧血	18,303
3	腎不全	14,849
4	骨の密度及び構造の障害	13,855
5	高血圧性疾患	12,620
6	関節症	9,758
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,073
8	脊椎障害（脊椎症を含む）	7,340
9	脂質異常症	5,922
10	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	5,671

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費及び被保険者千人当たりレセプト件数（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳梗塞	16,882	21.5
2	アルツハイマー病	14,929	31.2
3	肺炎	11,759	16.1
4	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	8,430	14.0
5	骨折	8,416	7.5
6	パーキンソン病	8,407	12.9
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,174	10.8
8	関節症	5,709	5.4
9	虚血性心疾患	5,533	3.2
10	腎不全	5,321	3.2

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	18,117	41.4
2	関節症	10,793	5.5
3	骨折	10,042	10.9
4	血管性及び詳細不明の認知症	7,589	5.5
5	腎不全	6,352	6.5
6	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	6,197	7.6
7	虚血性心疾患	5,982	2.2
8	くも膜下出血	5,387	2.2
9	胆石症及び胆のう炎	4,134	4.4
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	4,120	3.3

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	12,882	9.7
2	腎不全	4,335	11.8
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	1,291	2.2
4	炎症性多発性関節障害	804	2.2
5	白内障	754	2.2
6	屈折及び調節の障害	714	2.2
7	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	518	1.1
8	－	－	－
9	－	－	－
10	－	－	－

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	13,880	20.7
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	694	1.1
3	悪性リンパ腫	419	1.1
4	－	－	－
5	－	－	－
6	－	－	－
7	－	－	－
8	－	－	－
9	－	－	－
10	－	－	－

※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和3年度～令和5年度）

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費及び被保険者千人当たりレセプト件数（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳梗塞	47,188	70.9
2	骨折	35,982	33.7
3	脊椎障害（脊椎症を含む）	19,557	21.4
4	慢性閉塞性肺疾患	19,157	33.7
5	関節症	15,763	16.9
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	13,623	15.7
7	肺炎	13,552	20.2
8	悪性リンパ腫	12,784	4.5
9	腎不全	11,709	14.6
10	虚血性心疾患	11,622	12.4

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳梗塞	59,129	87.6
2	骨折	52,491	64.3
3	パーキンソン病	32,142	49.6
4	関節症	26,302	38.0
5	腎不全	18,870	15.9
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	9,684	14.7
7	肺炎	8,375	12.3
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	7,494	6.1
9	アルツハイマー病	7,136	14.1
10	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6,884	8.0

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	10,177	13.5
2	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	5,094	4.5
3	腎不全	2,102	5.6
4	パーキンソン病	1,057	3.4
5	白内障	800	2.2
6	炎症性多発性関節障害	375	1.1
7	屈折及び調節の障害	363	1.1
8	－	－	－
9	－	－	－
10	－	－	－

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	貧血	18,155	17.8
2	腎不全	8,410	23.9
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	7,187	11.0
4	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	5,549	6.1
5	パーキンソン病	621	1.8
6	悪性リンパ腫	537	1.2
7	白内障	216	0.6
8	屈折及び調節の障害	206	0.6
9	－	－	－
10	－	－	－

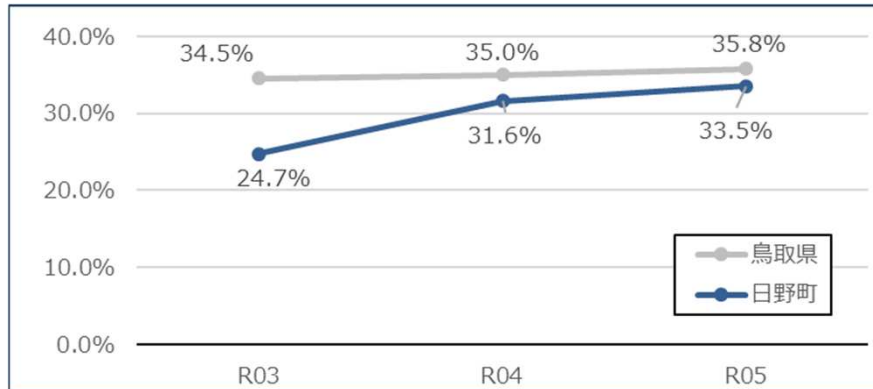
※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和3年度～令和5年度）

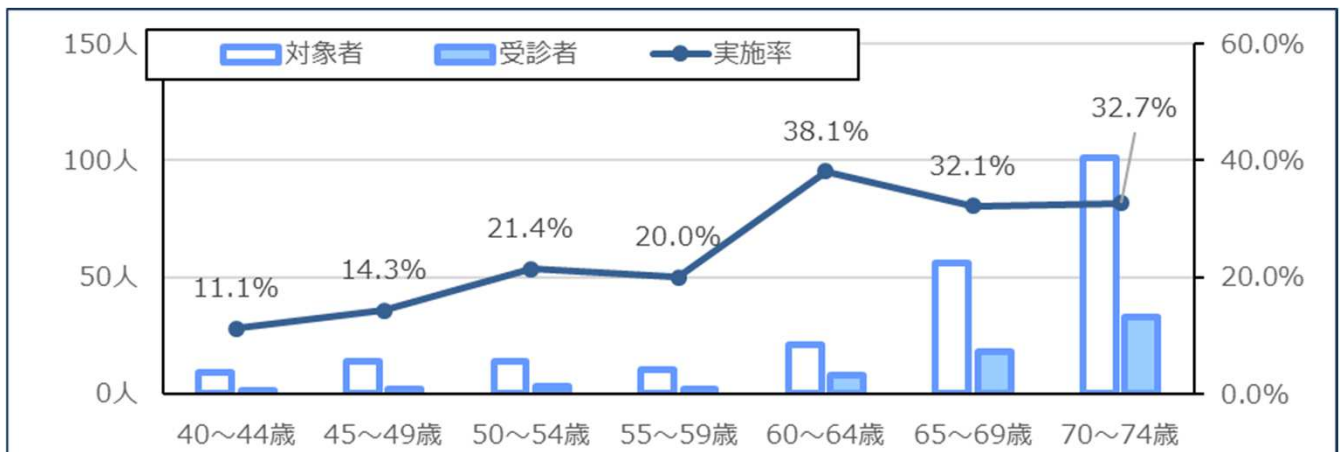
4. 健康診査の状況

国保 特定健康診査実施率

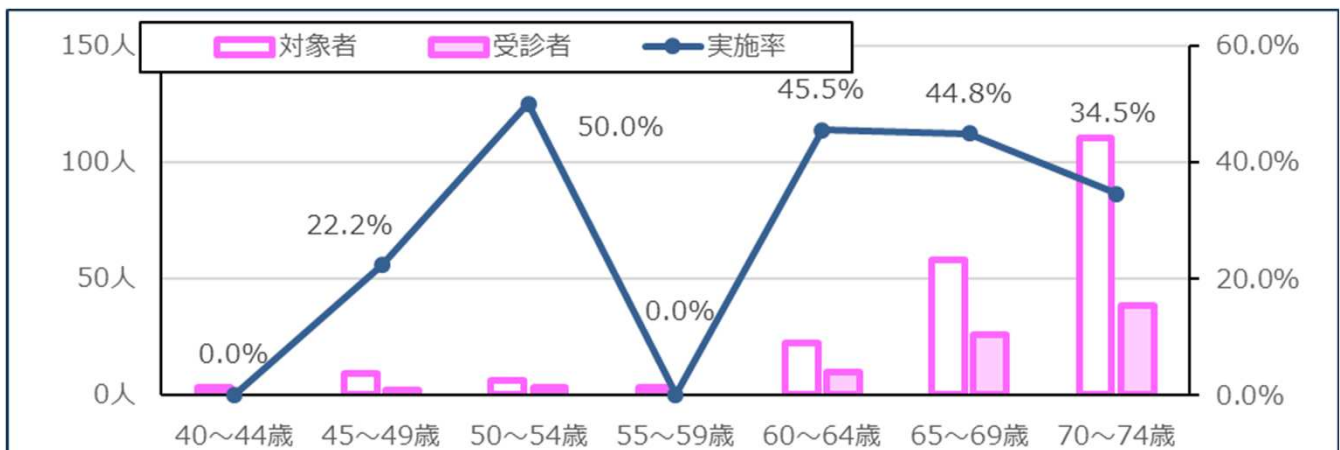
年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
R03	514人	127人	24.7%	34.5%	36.4%
R04	475人	150人	31.6%	35.0%	37.5%
R05	436人	146人	33.5%	35.8%	—



国保 【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和5年度）



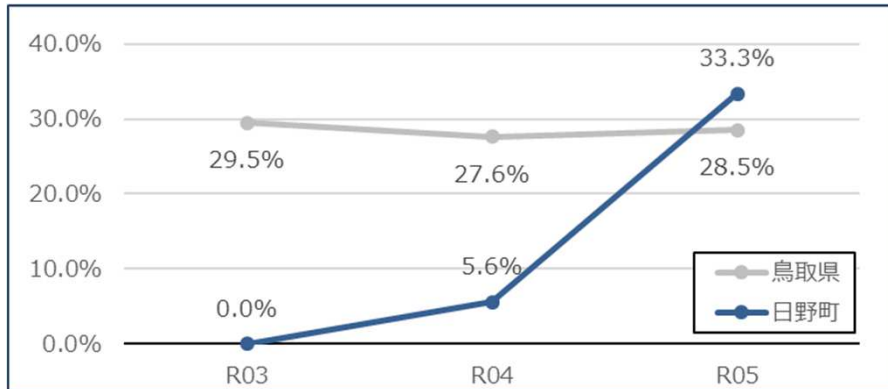
国保 【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和5年度）



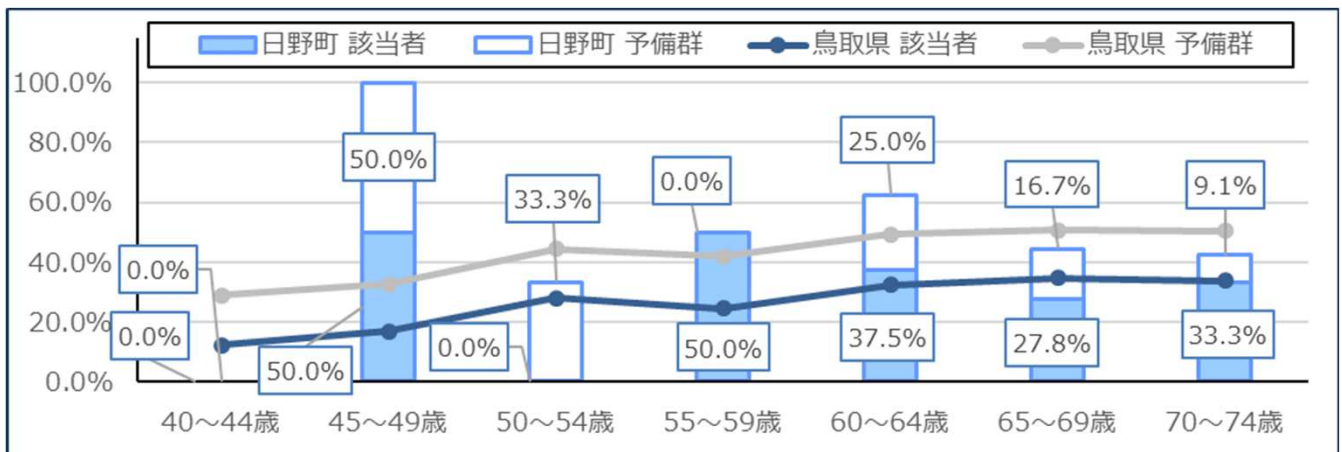
出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保 特定保健指導実施率

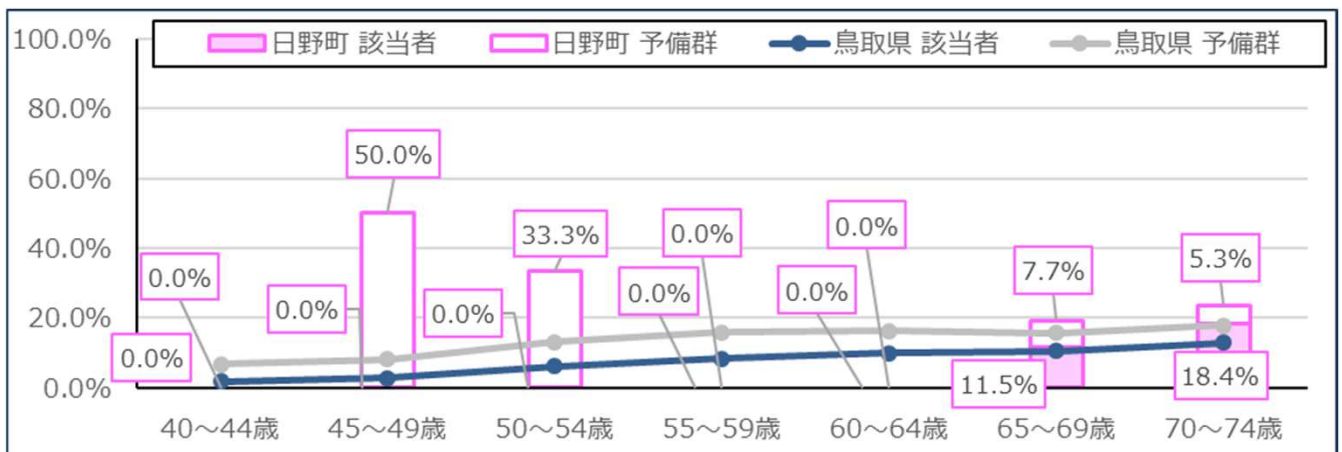
年度	対象者数	受診者数		(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
		受診者数	実施率		
R03	12人	0人	0.0%	29.5%	27.9%
R04	18人	1人	5.6%	27.6%	28.8%
R05	21人	7人	33.3%	28.5%	—



国保 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和5年度）



国保 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和5年度）



出典:特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保

 特定健診の質問票回答状況

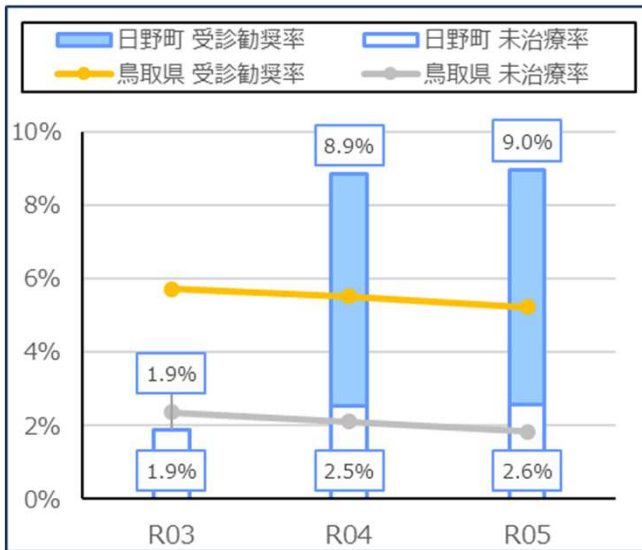
特定健診の質問票		男性		女性	
		日野町	標準化比	日野町	標準化比
服薬	高血圧症	43.8%	95.5	25.3%	73.5
	糖尿病	15.6%	117.5	9.3%	139.0
	脂質異常症	29.7%	110.5	30.7%	87.5
既往歴	脳卒中	1.9%	39.6	3.0%	129.9
	心臓病	7.5%	87.1	3.0%	76.6
	慢性腎臓病・腎不全	0.0%	0.0	0.0%	0.0
	貧血	1.9%	39.0	10.6%	73.8
喫煙	喫煙	17.2%	81.1	0.0%	0.0
体重変化	20歳時体重から10kg以上増加	56.6%	127.2	27.3%	104.2
運動	1回30分以上の運動習慣なし	64.2%	114.2	68.2%	114.4
	1日1時間以上運動なし	84.9%	*174.4	92.4%	*199.3
	歩行速度遅い	56.6%	112.5	65.2%	129.8
食習慣	食べる速度が速い	28.3%	96.1	24.2%	105.2
	食べる速度が普通	67.9%	108.5	62.1%	89.7
	食べる速度が遅い	3.8%	47.6	13.6%	177.8
	週3回以上就寝前夕食	15.4%	78.2	10.6%	110.6
	週3回以上朝食を抜く	5.7%	49.8	7.6%	124.3
飲酒	毎日飲酒	49.1%	117.5	18.2%	160.6
	時々飲酒	20.8%	88.7	16.7%	77.1
	飲まない	30.2%	86.6	65.2%	97.1
	1日飲酒量（1合未満）	18.9%	*40.5	43.5%	*51.4
	1日飲酒量（1～2合）	48.6%	142.6	56.5%	*450.4
	1日飲酒量（2～3合）	27.0%	176.7	0.0%	0.0
	1日飲酒量（3合以上）	5.4%	137.7	0.0%	0.0
睡眠	睡眠不足	35.8%	154.0	31.8%	118.6
行動変容	改善意欲なし	47.2%	146.3	24.2%	96.8
	改善意欲あり	30.2%	116.3	30.3%	106.0
	改善意欲ありかつ始めている	9.4%	79.1	4.5%	*31.1
	取り組み済み6ヶ月未満	5.7%	72.1	10.6%	111.7
	取り組み済み6ヶ月以上	7.5%	*34.2	30.3%	136.2
保健指導	保健指導利用しない	67.9%	102.9	62.1%	100.1
口腔機能	咀嚼_何でも	71.7%	93.7	74.2%	93.0
	咀嚼_かみにくい	26.4%	118.8	25.8%	130.8
	咀嚼_ほとんどかめない	1.9%	154.6	0.0%	0.0
食習慣	3食以外間食_毎日	11.3%	80.7	30.3%	111.3
	3食以外間食_時々	58.5%	103.2	57.6%	97.7
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	30.2%	103.1	12.1%	87.8

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比（間接法）を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

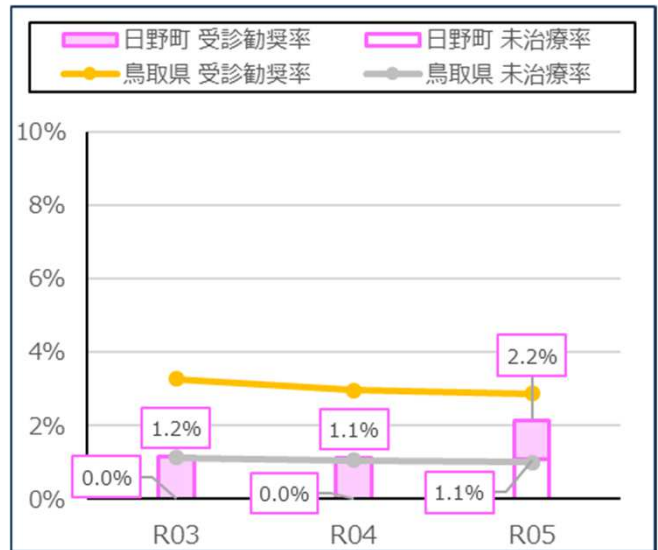
出典：KDB帳票No.6 質問票調査の状況（令和5年度）

国保 特定健診異常値受診勧奨者および未治療者の割合

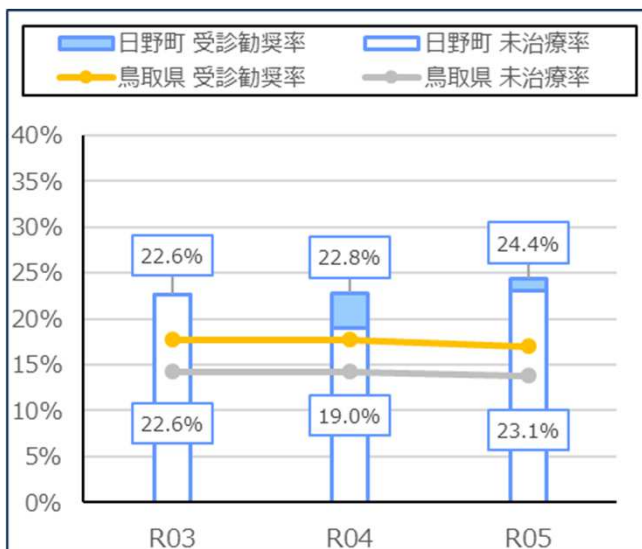
■【男性】（血糖）



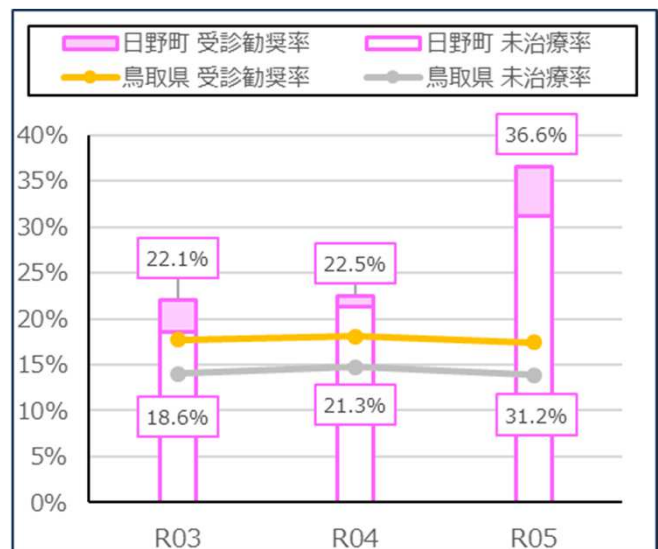
■【女性】（血糖）



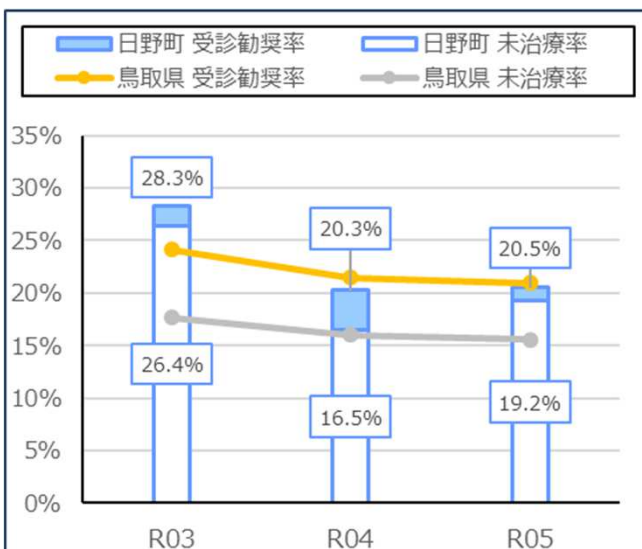
■【男性】（血圧）



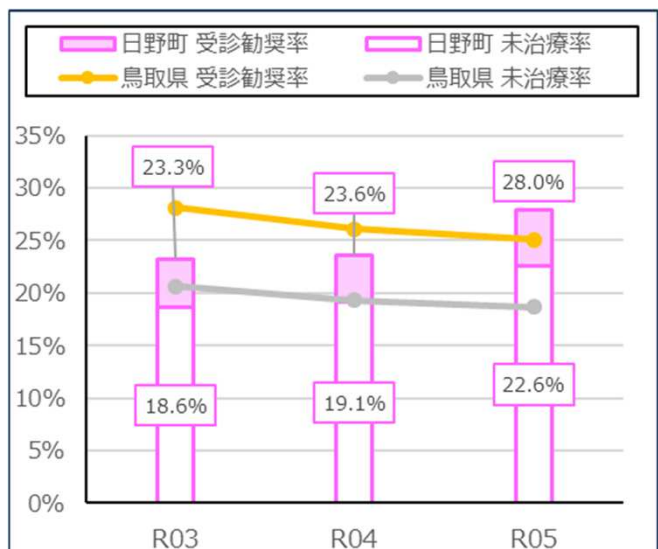
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



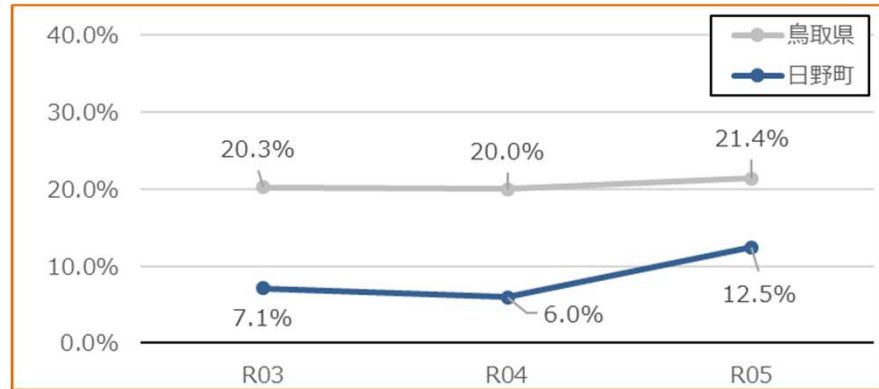
■【女性】（脂質）



※異常値受診勧奨者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定であり、質問票から服薬がない者、また、そのうち未治療の者
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

後期 後期高齢者医療健康診査実施率

年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率
R03	855人	61人	7.1%	20.3%
R04	831人	50人	6.0%	20.0%
R05	837人	105人	12.5%	21.4%



出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 後期高齢者の質問票回答状況

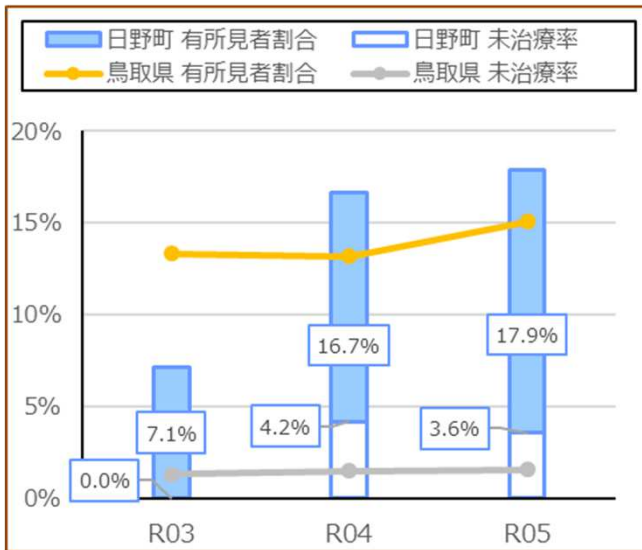
後期高齢者の質問票		男性		女性	
		日野町	標準化比	日野町	標準化比
健康状態	よい	19.5%	74.9	20.3%	89.1
	まあよい	14.6%	76.9	15.6%	91.5
	ふつう	48.8%	106.7	56.3%	110.6
	あまりよくない	14.6%	180.4	4.7%	55.8
	よくない	2.4%	224.5	3.1%	351.6
心の健康状態	満足	43.9%	88.8	45.3%	98.1
	やや満足	39.0%	92.3	43.8%	95.7
	やや不満	17.1%	*236.4	9.4%	131.1
	不満	0.0%	0.0	1.6%	168.4
食習慣	1日3食きちんと食べる	100.0%	106.0	98.4%	103.4
口腔機能	半年前に比べて固いものが食べにくい	17.1%	69.0	21.9%	86.2
	お茶や汁物等でむせる	24.4%	126.9	23.4%	114.4
体重変化	6ヵ月で2～3kg以上の体重減少	17.1%	142.4	15.6%	144.1
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	56.1%	100.4	57.8%	104.9
	この1年間に転んだ	26.8%	169.5	29.7%	*172.8
	ウォーキング等の運動を週に1回以上	46.3%	69.9	54.7%	86.1
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	12.2%	83.6	10.9%	91.4
	今日の日付がわからない時あり	22.0%	97.3	23.4%	112.6
喫煙	吸っている	7.3%	81.5	0.0%	0.0
	吸っていない	46.3%	89.7	96.9%	103.5
	やめた	46.3%	117.7	3.1%	75.7
社会参加	週に1回以上は外出	92.7%	100.4	92.2%	97.9
	家族や友人と付き合いがある	100.0%	107.3	98.4%	101.6
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	90.2%	95.9	92.2%	95.8

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比（間接法）を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

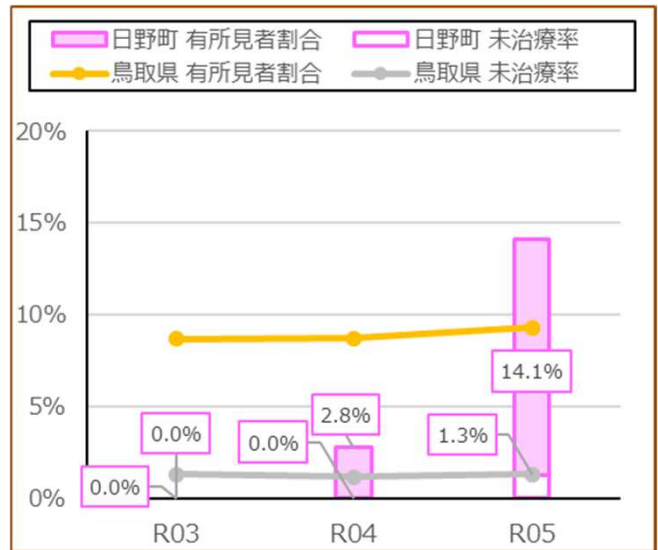
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況 (令和5年度)

後期 健診有所見者および未治療者の割合

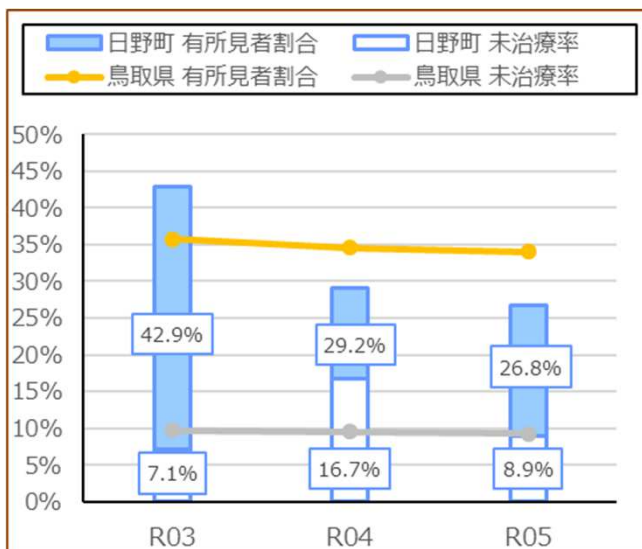
■【男性】（血糖）



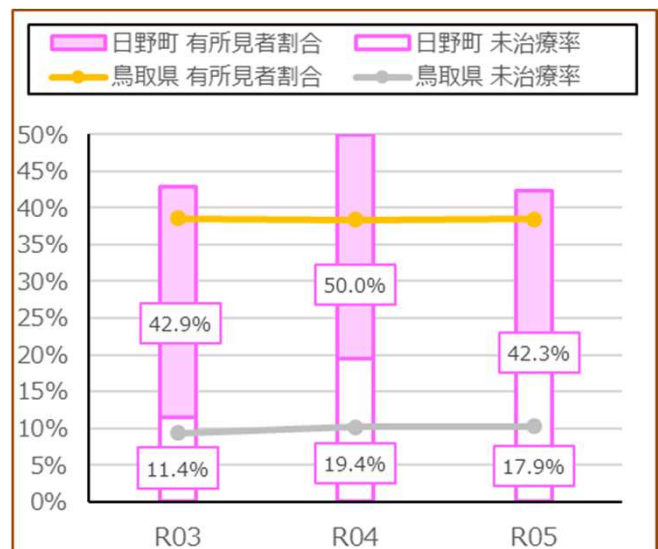
■【女性】（血糖）



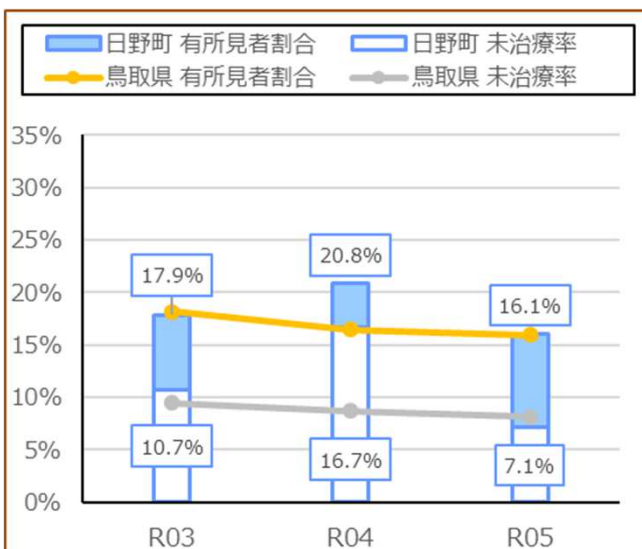
■【男性】（血圧）



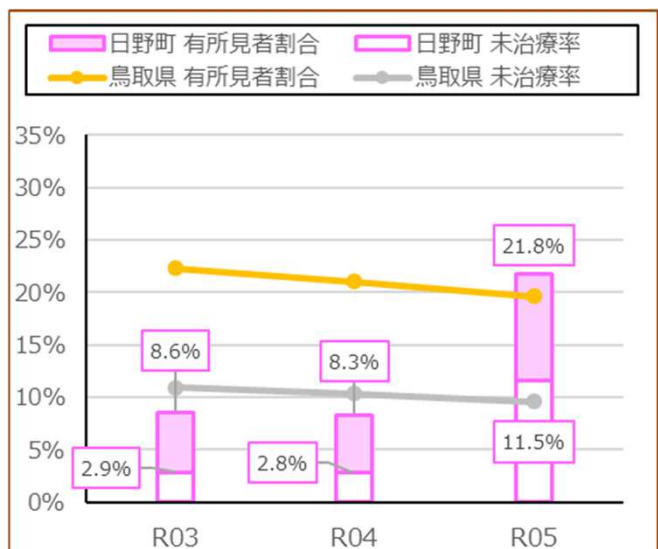
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



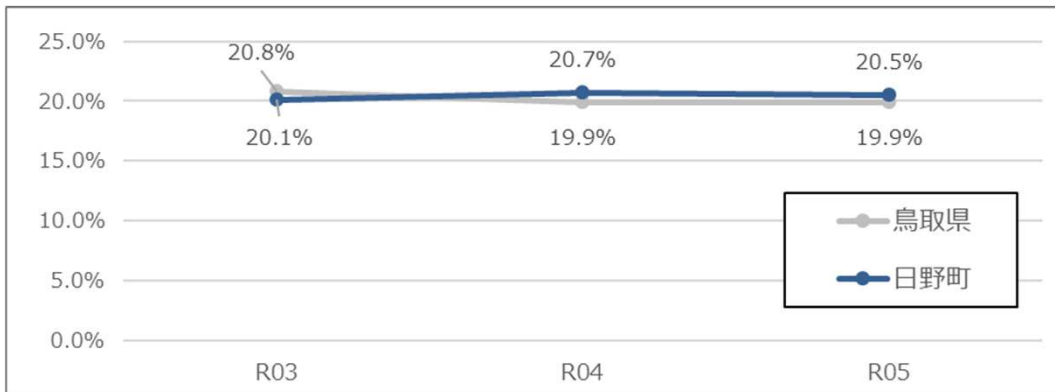
■【女性】（脂質）



※有所見者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定である者、また、そのうち未治療の者
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

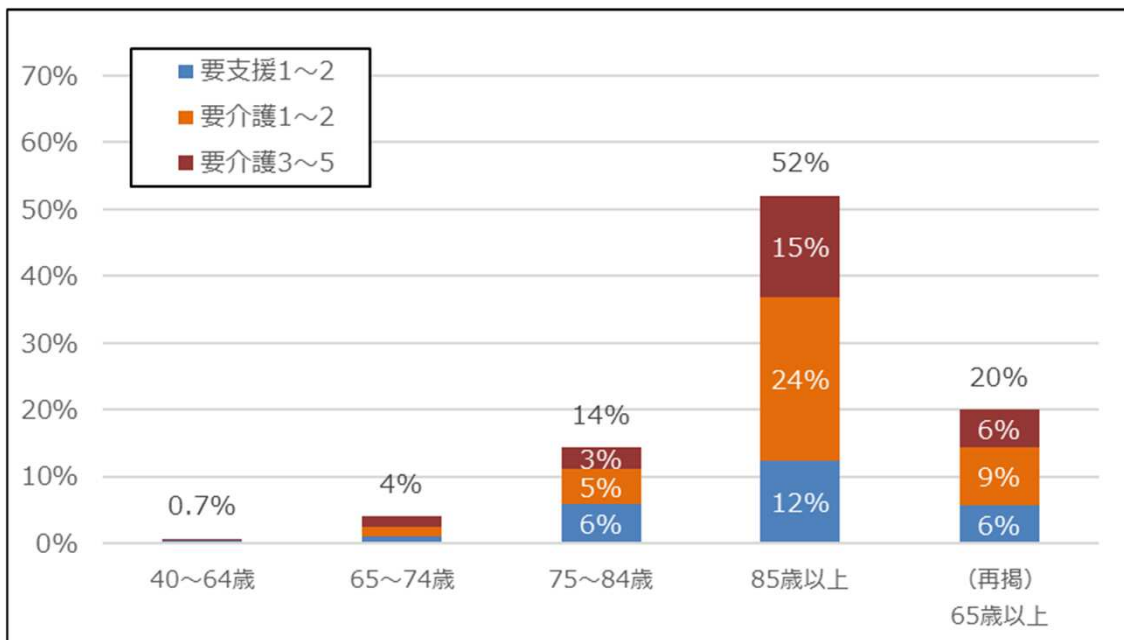
5. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



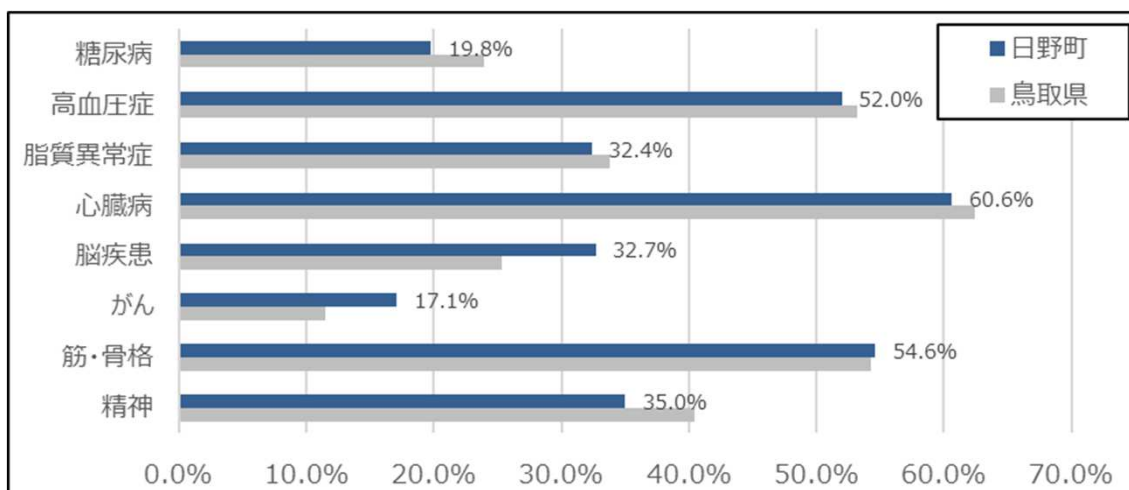
出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 (各年度累計)

■ 年齢階層別要介護認定率



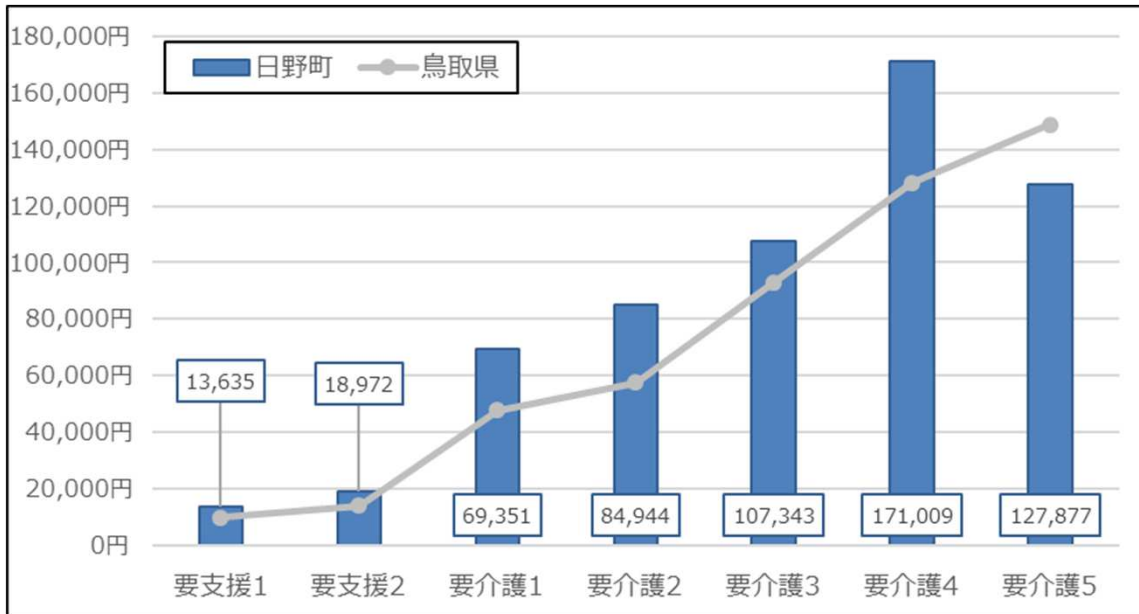
出典:KDB帳票No.47 要介護（支援）者認定状況(令和5年度)

■ 要支援・要介護認定者の有病状況



出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 各年度(令和5年度)

■ 要介護度別 1 件当たり介護給付費



出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 各年度(令和5年度)

6. まとめ

医療費の状況	・国保は、入院・外来医療費とも県平均より高い。(町P.5) ・後期は、入院医療費が増加傾向にあり経年的に県平均より高い。(町P.6) ・国保において、男女ともに新生物・循環器系の医療費が県平均より高い。(町P.7) ・後期において、男性は、循環器系・新生物の医療費が高く、女性においては循環器系・神経系の入院医療費が県平均より高い。(町P.7)
特定健康診査・ 特定保健指導の状況	・特定健診査実施率は、経年的に県平均より低い。(町P.14) ・特定健診の質問票において、“運動習慣なし”、“睡眠不足”の標準化比が男女とも高い。特に女性の“毎日飲酒”、“3食以外間食 毎日”の標準化比が高い。(町P.16) ・特定健診異常値（血圧）の未治療者割合が、男女とも経年的に県平均より高い。(町P.17) ・後期高齢者の3年連続未受診者および健診未受診者かつ医療機関無受診者の割合が県内で2番目に高い。(県P.53-54) ・後期質問票において、“この1年に転んだ”の標準化比が男女ともに高い。(町P.18)
介護の状況	・要介護認定率は経年的に県平均と同程度で推移している。(町P.20) ・新規要介護認定者の脊椎・椎間板・脊髄障害・骨粗鬆症・変形性関節症・脳卒中の有病率が県内で最も高い。(県P.67-69)
健康スコアリングから 見える課題、助言等	・国保は血圧リスクが県内で最も高く、後期において肥満・血糖・脂質・肝機能リスクが高い。(県P.72-75) ・国保は運動習慣・飲酒習慣・睡眠習慣リスクが県平均より高く、後期は心の健康状態のリスクが県平均より高い。(県P.76-80) ・循環器系疾患の医療費が高いこと、新規要介護者認定者の骨粗鬆症等の有病率が高いことから、運動習慣・食習慣・睡眠習慣に重点を置いた生活習慣病対策・フレイル予防対策の推進が必要であると考え。また、健康状態不明者に対する健康状態の把握も重要であると考え。